

『去勢抵抗性前立腺がんに対するラジウム223治療に関する多施設後ろ向き観察研究』のお知らせ

・はじめに

骨転移を有する前立腺がんにおける骨転移治療は臨床上重要な課題です。骨転移は骨折や疼痛などにつながるためです。現在、内分泌療法が効きにくくなった去勢抵抗性前立腺がんでは骨転移を有する患者さんにはラジウム223という治療薬がつかわれることがあります。

この薬は骨転移による痛みを軽減するだけでなく、予後を延長する効果が報告されています。一方で6回の投与を完遂できずに中断してしまう方もおり、どのようなタイミングで患者さんに投与するのが最適なのか詳細は明らかではありません。本研究では前立腺がんにて当科でラジウム223にて治療された方の経過を調査し、治療状況を調査します。

・研究対象および研究期間

対象となるのは2016年1月1日から2018年7月6日までに前立腺がんにてラジウム223(商品名:ゾーフイゴ)を投与された方です。研究期間は病院長承認日から2020年12月31日までです。

・患者さんの個人情報の管理について

匿名化しているので患者さんの個人情報が外部に漏れることはありません。集められたデータは、施錠した部屋で厳重に管理します。

・利用する情報

カルテ情報(診断名、年齢、性別、身長、体重、治療歴)、採血情報などです。

・費用負担

新たな費用負担はなくご本人への不利益は一切ありません。

- ・患者さんのなかでこの研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡下さい。あなたに関わる研究結果は破棄され、診断記録なども、それ以降は、研究目的に用いられることはありません。ただし、ご連絡をいただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果などからあなたに関するデータを除外することができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

・問い合わせ先

泌尿器科 担当医師 前鼻 健志

電話：0143-44-4650 FAX：0143-47-4354